

薬剤師教育に関する 国際フォーラムディスカッション



International Forum Discussion
for Pharmacist Education in Tokushima 2013

日時：2013年2月11日 13:00 - 18:00

場所：徳島大学 長井記念ホール

本フォーラムディスカッションのねらい:

日本に新しい薬学教育カリキュラムが導入されてから7年が経過しました。新たに加わった2年間で様々な実務関連教育・実習が導入され、臨床や調剤の現場ではこれを評価する声上がる一方、教育の現場ではその実施内容や方法、質および実効性の向上に大変苦勞している現状もあります。

本フォーラムディスカッションでは、ヨーロッパおよびアジアで薬学教育に携わる大学教員数名をお招きし、はじめにそれぞれの国における薬学部および薬剤師教育に関するカリキュラムについてご紹介頂きます。続いてその問題点も含む最近の実情を率直に討論し、薬剤師教育内容の質を向上させるためのヒントを得たり、また連携協力による薬剤師教育の質向上の可能性を探ることをねらいとしています。

プログラム:

13:00 – 13:15 開会宣言・概要説明

13:15 – 13:55 イタリアの薬剤師教育 (1)

Dr. Emanuela Corsini (ミラノ大学)

13:55 – 14:35 イタリアの薬剤師教育 (2)

Dr. Angelo Sala (ミラノ大学)

Break

14:45 – 15:25 インドの薬剤師教育

Dr. Pulok Kumar Mukherjee (ジャダプール大学)

15:25 – 16:05 徳島大学の薬剤師教育

Dr. Shinji Abe (徳島大学)

16:05 – 16:30 四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革

Dr. Koichiro Tsuchiya (徳島大学)

Break

16:45 – 17:45 フォーラムディスカッション

17:45 – 18:00 閉会宣言 (懇親会は19時から別会場にて実施、参加費5,000円以内)

本フォーラム講演は原則として英語で実施されますが、討論・質疑応答は日本語も可とします。

トピックス:

(講演) 各国における薬学部・薬剤師教育カリキュラム概要
勤務校における基礎教育の内容と実施方法・特色
勤務校における実務教育の内容と実施方法・特色
実務と免許に関わる試験の概要および実施時期・方法
各国の現行システムに関する問題点

(討論) 講演内容に関する質疑応答・討論
実務教育内容の要求度
コミュニケーション教育の実情
教育コストと支援制度
薬学生の就職状況
国内外他校との連携教育の実情と可能性
教育人材の確保と養成
女性支援制度について

ほか

主催 徳島大学概算事業 (特別教育研究経費)
(臨床現場に直結した新しい薬学教育システム)

共催 大学間連携共同教育推進事業
(四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革)

協賛 日本薬学会中国四国支部

協賛 徳島大学医療教育開発センター

協賛 徳島大学 AWA サポートセンター

協賛 徳島大学薬学部 FD 委員会